

令和8年度 走潟公民館だより 8月号

「集い・ふれあい・学び」

文責：走潟公民館長 芥川 学



夏休み恒例!!

早朝ラジオ体操

始まる

東走地区では、毎年小学生が夏休みに入ると、学習センターで“早朝ラジオ体操”が行われます。7月21日（火）は、6時15分頃になると、自転車や徒歩で小学生18人と大人10人が集まり、ラジオ体操第一・第二を元気に行いました。PTA 地区委員の入江さんが、カードとシールを準備してくださいました。子供たちは、シールを貼るのが楽しみのようです。土日とお盆の週はお休みです。体操で猛暑を吹き飛ばします!!



姿勢をよくして～



見事なパドルさばき

第5回カヌー体験!!
7月28日（火）に
走潟小学校プールで
5・6年生希望者
グリーンはな走会と
走潟小学校との共催
朝9時30分開始
11時終了

初めは慣れないパドル操作がみるみる上達する様子が見られた。

←会員による見事なお手本を披露の様子

自主講座紹介

エコ・フラワー教室

身近な器（平皿やガラス器・湯呑など）に身近な草花を生けて楽しんでいます。時にはメンバーの庭にある植物を分けてもらったり、季節の設えを学んだりもしています。講師は、堀川弘子先生で、会員は6人です。毎月第2月曜日に、走潟公民館で活動しています。



主催事業だより

第3回青空教室

(紙飛行機を飛ばそう) 7/11土

＜作り方＞①線にそって切る。(山おり・たにおり)
②ゴムを付けるところをカット凹にする
＜飛ばす＞上に向けるほうは、ゴム止め(厚紙)のついたゴムの方を親指と人差し指でしっかり掴み、飛行機の凹に引っ掛け、片方の手で紙飛行機を自分の体の外側に向けて掴み、しっかり引っ張る。方向は真上に向ける。自分の顔に当たらないように注意する。 【子供たちの感想】

○作るのが少し難しかったけど、上手に作れるようになって良かったです。○高く飛ばせてうれしかったし、楽しかったです。最初は飛ばせなかったけど教えてもらったからいっぱい飛ばせて楽しかったです。○紙飛行機が、たまに手に当たったりしたけれど、どんどんコツがつかめて上手に飛ばせるようになったので良かった。○いろんな人と飛ばせてうれしかったし、みんなで飛ばせてうれしかったです。○最後の紙飛行機飛ばしだったけど、みんなをまとめたり安全に気をつけながら、6年生として楽しむことができて本当に良かったです。



第2回成人講座(災害に備えよう)

パッキング 7/1水

【学習の内容】パッキングは本当に災害時に役立つ調理法です。ビニール袋を使う。片付けが簡単です。

○メニュー「トウモロコシ御飯」「クラムチャウダー」「かぼちゃとツナの煮物」「蒸しパン」

【講話】 防災に関する新たな情報

1 情報収集に努める：気象庁(キキクル) 熊本県(防災情報くまもと) 宇土市(LINE) 宇土市防災無線(23-6186) 宇土市ホームページ(ライブカメラ)

2 防災グッズの用意：TKB48(T:トイレ、K:キッチン、B:ベッド)、簡易トイレ、非常食、エアマット

非常食(ちょびっとずつ：ちょ備蓄) ひだまりパン・カンパン・五目御飯(パウチ)、カップ麺(6ヵ月)・袋めん(8ヶ月)・レトルトカレー(1~2年)・パック御飯(1年)など、災害にあったときに役立つ話も聞けました。



クラムチャウダー
のようす
←

9月の公民館主催事業

- (1) 9月12日(土) 第5回子供地域活動「竹細工」1年生から6年生まで
- (2) 9月16日(水) 成人講座「高齢者の健康教室」簡単な体操もあります。

(2)の申し込み・問合せ先：走潟公民館 ☎23-2877 月~土 午前9時~正午

走潟公民館だより「生涯学習講座：走潟！の歴史を語ろうかい」

第1回「太古の宇土と走潟」ダイジェスト版（要約版）

令和8年7月4日（土）に開催した走潟公民館生涯学習講座「走潟！の歴史を語ろうかい」第1回の内容の要約版です。

テーマ「太古の宇土と走潟」

大昔、走潟周辺は海の底だったと言われますが、それはいつ頃か、そしてどのように現在の地形になったのか、御存知でしょうか。

1万7千年以上前のいわゆる氷河期、海水面は現在より数十m低く、有明海のかかなりの部分が陸地だったとみられます。その後、地球規模で温暖化が進み、今から約6千年前（縄文時代）には、現在より海面が高い「縄文海進」が起こり、走潟を含む現在の熊本平野は大半が海中に没しました。熊本平野の地下には、この頃に積もった干潟の泥「有明粘土層」が十数mもの厚さで存在します。

時代が下り、今から千年ほど前の平安時代頃までには、走潟の原形となる土地ができました（図）。その頃、走潟と宇土の間は未だ海峡であり、潮の干満に伴う水流や、付近に流れ込む河川が運んだ土砂の堆積が、走潟の特徴的な地形を形成したとみられます。なお、人が住んだ痕跡そのものは、さらに後の室町時代頃からしか確認できていません。



平安時代頃の走潟周辺（推定）

文責：芥川博士

（宇土市文化課：走潟公民館生涯学習講座「走潟！の歴史を語ろうかい」講師）

